

## 2021年度海外留学(実績)

対象学科	派遣先大学等	派遣期間	派遣人数	単位認定	研修目的等
HT学科 (GMM)	サンウェイ大学(マレーシア)	2021年8月～2022年3月 (8ヶ月) ※全期間オンライン	2	有	異文化社会に身を置くことで国際感覚を養うとともに、世界に通じるホスピタリティ・マインドを身につける。

# 長期留学報告書

留学先国及び留学先大学： サンウェイ大学

留学期間： 2021 年 8 月 ～ 2022 年 3 月

## 1 留学先で学習した内容について、詳しく書くこと（400字以上）

サンウェイ大学ではホテルアコモデーションマネジメント、サステナブルツーリズムデベロップメント、フードアンドビバレッジマーケティング、スモールビジネスベンチャーとコンサートエンターテインメントマネジメントの合計5つのコースを履修しました。ホテルアコモデーションマネジメントの授業ではホテルの運営に関することを学びましたが、その中でも、もっとも印象的だったのはマレーシアにあるフルサービスホテルの比較です。ホテルをそれぞれ5つずつ取り上げ客室数、客室の設備、アメニティやサービスなど多くの視点からそれぞれスコア化しました。その結果、サービスのスコアに大きな差が見られました。シャトルバスやドアマンなど各部屋の設備より全てのお客様をもてなすためのサービスが多いことに気がつきました。また感染症が流行する前後のIRを照らし合わせその強い影響を改めて知りました。価格の低下は2~5万円と非常に大きかったです。この状況の打開策として国内旅行客にのみ焦点を当てたマーケティングや設備の見直しと売却などが挙げられました。この現状を知った後、危機管理の授業を受講いたしました。誰も予想していなかった感染症の流行のため当初は対策が追いつかないホテルが多かったです。あらゆるリスクを考えて最大限の対策を講じる必要性を強く感じました。

## 2 オンライン留学でよかったことや大変だったことについて、詳しく書くこと（400字以上）

よかったことは、就職活動との両立が可能だということです。3年生だったので就職準備を進める必要があったのですが、授業の少ない日はオンラインの会社説明会に参加することもできました。また、サンウェイ大学の授業をオンラインで受けながら、キャリアデザインの授業にも参加できたので就職活動へのモチベーションを下げないままオンライン留学ができました。

次に、大変だったことは同じグループになった現地の学生とのコミュニケーションを取ることです。8月から12月まではほとんど全ての授業がオンライン上で行われていたため、メッセージアプリを使って一緒に課題を進める必要がありました。実際に会って話すよりも時間がかかるうえに、ミスコミュニケーションが生まれやすいので大変でした。留学の後半頃からは授業がマレーシアで行われたので現地にいる生徒は大学で授業を受けていました。そのため実際に現地で課題を進めているメンバーと私のように完全にオンラインで課題を進めている生徒との間で認識の不一致やトラブルが度々生じていました。

### 3 留学を振り返って

(1) 留学を通じて成長したこと、感じたこと、得たことを留学前の意識と比べて書くこと (400 字以上)

留学を通じて成長したことは、コミュニケーションの重要性です。グループ課題を行う際には、メンバーそれぞれの予定や、時差などによってスケジュール通りに進めることはかなり困難だと感じました。そのため個人で行う課題よりも余裕を持ってスケジュールを組み、協力して課題を終わらせる必要があります。それに加えて、課題へのモチベーションを下げないように、日頃から課題以外のコミュニケーションを取ることも重要だと感じました。実際に会って話したことがない生徒同士が同じグループで課題をするので、まずはメンバー全員が知っていることから話を広げて交流を深めました。マレー語を教えてもらったり、アイドルや音楽の話をしたりして盛り上がりました。メンバー全員の国籍が異なったため、文化的な違いを知れたことも面白かったです。課題は大変でしたが、それよりも友達と共に勉強に励む楽しさを感じられました。全ての授業を受講し終えた後も SNS で連絡を取り合うくらい仲良くなれました。これからも協力して物事を進めていく時には、メンバーと仲良くなれるように工夫しながら取り組みたいと感じました。

(2) (1) を今後の学生生活や将来にどう活かしていきたいか、詳しく書くこと (400 字以上)

この経験を生かして日本人とだけでなく海外で生まれ育った人達とも交流、協力して何かに取り組めたらいいと思っています。各国の文化的背景から、親日や反日など無意識に考えてしまい交流することを躊躇ったこともあります。しかしこの経験から国の特徴や歴史から人を判断するのではなく、その人自身を見つめて交流できると思います。そうすることでかつて一方的に抱いていたそれぞれの国の印象とは違う印象を得られます。社会人として働き、そこで海外からいらっしゃった方や、海外に拠点を持つ会社と交流を持つときは恐れることなく、自分から会話を楽しむことができると思います。私が留学を通じて知り合ったほとんどの教授や学生の皆さんは親切でフレンドリーな方が多かったため、特に問題なくプログラムを修了できましたが、必ずしもこのようにうまくできるとは限りません。しかし、留学中にしてきたように恐れることなく自分の意見をはっきりと伝え、相手にも耳を傾けながら親交を深められればと思います。

4 今後オンライン留学する人へのアドバイスや心構え、メッセージ等について、詳しく書くこと (400 字以上)

留学をして感じたことは、自ら働きかけることの大切さです。おそらく、実際に現地で留学をしていたとしてもこれは重要だと思いますが、オンラインで授業を受けているので、より積極性が求められると思います。自分から話しかけなければ、留学が終わる頃になっても友達はできないと思います。コミュニケーションを取ろうとすることも大切です。何か疑問に思ったことやわからないことも自分で解決しようとするのではなく、仲間を頼ることも時には大切です。仲良くなれるきっかけがオンライン上では少ないので、たとえ少し気まずく感じても SNS の交換や whatsapp などを利用して交流を持つといいと思います。オンライン上の友達なので馴染みがありませんでしたが、留学を経て得られたものなので嬉しく感じています。また、コミュニケーションをとること以外でも授業に積極的に参加することも大切です。少し聞き逃してしまっただけについていけなくなることも多かったのですが、教授にわからないところは確認するようにしていました。ずっと画面と向き合うことになるので大変ですが、ぜひ楽しさを見出しながらオンライン留学に励んでください。

# 長期留学報告書

留学先国及び留学先大学： サンウェイ大学

留学期間： 2021 年 8 月 ～ 2022 年 3 月

## 1 留学先で学習した内容について、詳しく書くこと（400字以上）

8月23日から12月17日まで行われた Semester 1 では、以下の3つの科目を受講しました。学んだことを踏まえながら説明していきます。

### ● Sustainable Tourism Development

この科目では観光業における「社会的」「経済的」「環境的」課題に着目し、SDGsの考えを踏まえながら解決策を議論しました。論文課題を通して多くの参考文献を読み、観光業の抱える問題点と良い点、将来性などを深く学ぶことができました。

### ● Hotel Accommodation Management

この科目ではホテルを管理するためのスキルを磨きました。ホテルの種類や既存のホテルから読み取れる課題点、改善案を考え、チームとして議論しました。ここでは、計算問題が多く、大変苦労しました。

### ● Food and Beverage Management

この科目ではレストラン経営において留意すべき点や、既存の店舗を例として使いながら、起こりうるリスクとリスクマネジメントを議論しました。レストランの種類や着眼点（課題点）により、議論の根拠をサポートするセオリーがあり、興味深かったです。

1月17日から3月11日まで行われた Semester 2 についても、同様に説明していきます。Semester 2 は3ヶ月という短期間で行われたため、一週間の密度が高く、タイムマネジメントや課題処理が大変でした。

### ● Concerts and Entertainment

この科目ではイベントを運営する際の戦略や管理方法などを、過去の事例も持ち出しつつ学習しました。また、舞台配置や小道具の名称・使い道など、イベント運営について詳細に知ることができました。

### ● Small Business Venture

この科目では「起業家精神論」をベースに、起業するために重要な知識を勉強しました。グループワークで実際に起業提案書を作成する過程で、コンセプトや将来の展望、戦略や商品デザインも自分達で一から手掛け、起業家のタスクを体験しました。

## 2 オンライン留学でよかったことや大変だったことについて、詳しく書くこと（400字以上）

オンライン留学でよかったことは、時間的自由が比較的あったことです。Semester 1 では全学生がオンライン授業でしたが、Semester 2 からオンラインでの参加が許可されたのは、留学生7名ほどでした。その際、移動の時間や資料を準備する時間がかからなかったことが利点でした。例えば、1限が10時に終わり2限が10時から始まるといったような、詰まったスケジュールもあったので、大変助かりました。また、上記したように授業資料やグループワークで使う google document といった共有アプリ、参考文献で使用した google scholar などの専門サイトなども同時並行で使うことができたので、荷物も少なく、情報が素早くシェアでき、手に入れることができたことも良い点でした。さらに、オンラインということで、どこでも受けられるということも大変便利でした。そのため、明海大学でのキャリアデザインを履修しながら、すぐにオンライン留学に繋ぐことが可能でした。

一方、オンライン留学だからこその困難もたくさんありました。最も大変だったのは、コミュニケーションをとることでした。クラスメイトとの交流に関しては、顔も声も知らないことが多く、グループワークの多い tutorial のクラスでもチャット機能を使っていたため、会話を通しての交流はほとんどありませんでした。そのため、グループワークはとても困難でした。tutorial のクラスで行う小さなグループワークはもちろん、特に大変だったのはグループ課題の作成でした。私は1つのグループでリーダーだったため、メンバーとの情報共有やタスク管理などに苦労したことを覚えています。

### 3 留学を振り返って

(1) 留学を通じて成長したこと、感じたこと、得たことを留学前の意識と比べて書くこと (400 字以上)

留学前は、様々なことが予測できない状況で、不安もありました。また、留学前に登録しておくことが多く、それらにも不慣れだったため、教科書ノートを持って教室に行く現地留学の方が楽だったのだろうか、とも考えました。留学が始まって間もない頃は、授業の高度な内容と教授の英語の癖などに苦勞し、グループワークなどは比較的力本願でもありました。

しかし、授業に慣れ、数多くのワークをこなしていくうちに、理解も深まり自分の意見も共有し始めました。また、上記で述べたように1つのグループ課題でリーダーを務めたので、積極的なコミュニケーションとマルチタスク力、リーダーとしての責任感などを学びました。ここで1番大変だったことは、メンバー全員のタスク内容を理解していなければならないことでした。教授に何回も面談を頼み込み、不安要素は逐一相談させてもらったり、メンバーの質問の答えにも対応したりしました。これにより、どのように直接会えないメンバーの統率を図るか、全員の進捗状況を把握し推敲するなど、多くの経験をしました。

(2) (1) を今後の学生生活や将来にどう活かしていきたいか、詳しく書くこと (400 字以上)

同時期にいくつもの論文を仕上げたり、多くの参考文献を読んだり、複数のグループワークをこなすことなどから得たマルチタスク力は、今後も非常に役立つと考えています。いかに効率よく、またどれを優先的に終わらせるか、といったような、その場において最適な判断を素早く行うことができるため、在学中・卒業後に直面するであろう、多くのタスクを並行して遂行できると思います。今、ホテルのフロントでアルバイトをしていますが、そこでもマルチタスク力が必要とされています。日々の業務をこなしながらお客様の問い合わせに応えたり、特別な行事があればそれにも対応したりしなければなりません。しかし、どのような場面でも、留学時の経験を活かして、落ち着いてタスクをこなしていけるようになりました。これはまた、将来、就職後も生きてくると考えています。

さらに、リーダーとしての経験は、今後グループで行う行事や、就職後のチームでの仕事のときに活躍すると考えます。理解(定義)は統一されているか、情報は均一に十分に共有されているか、全員が意見を言ったかなど、チームビルディングやメンバーのタスク管理などをする際に役立てていきたいと思っています。

4 今後オンライン留学する人へのアドバイスや心構え、メッセージ等について、詳しく書くこと (400 字以上)

現地の学生は教室に居て、留学生はオンライン参加という状況の場合、孤独に感じることや、グループワークの時は疎外感を感じることもあるかも知れません。学校によっては、学生同士のコミュニケーションはほぼなく、顔も声も知らない相手と、課題をこなすことも多々あると思います。しかし、それは永続的な状況ではなく、自分のやり方や捉え方次第で、いい経験に変わります。例えば、コミュニケーションをとりたい時は、まず、チャットからでもいいから話かけます。私はグループチャットから入って、個人チャットに移って、それから電話でやりとりをしました。「私たちはいい友達になれると思わない?」と言ってくれるような友人や、私が現地には行かないことを告げると残念がってくれる友人、テストや授業についての軽口などを叩き合える友人とも出会えました。また、初めのうちは、授業に遅れて参加したためついていけず、話し手の英語の癖や資料の内容を理解できず苦勞しましたが、教授に授業後にも面談を依頼し、疑問点は徹底的に解決していきました。このように、自分の行動で変えられることは多くありました。

確かに、オンライン留学には良い点だけでなく悪い点(困難な点)も沢山ありますし、たくさん直面していくと思います。しかしそれは現地留学でも同じことです。大切なのはオンライン留学を自分にとって有益なものにするための意識と行動だと思います。応援しています。